

# コロナ支援策有効に

## JAGグループ山形 総合力で活用促す 担当者に説明会

【山形】農業者への経営継続補助金など、新型コロナウイルス感染症対策に関する国や県の各種支援事業の有効活用に向け、JAGグループ山形は

24日、山形市のJA研修所でJAなどの担当者を対象に説明会を開いた。

申請手続きなどで、農家組合員らにこれまでにない負荷が想定されるとし、組合員への伴走支援など、JAGグループを挙げたサポートの必要性を確認した。

確認した。

東北農政局と県の担当

者を含め、約70人が出席

した。国が2020年度

第2次補正予算などで行

うコロナ対策支援策のう

ち、特に経営継続補助金

は生産者個々の申請を基

本とし、JAGグループの

支援が対象要件となる。

このため、事業計画書

の策定や事業実施、事業

実績報告まで、各JAに

は組合員への伴走支援が

求められるとし、地区ご

とに担当者を決め、JAG

グループ山形地域・担い

手サポートセンターがJA

Aの取り組みを支援する

ことが重要とした。

同補助金は、販路の回

復・開拓や事業の継続・

転換のための機械・設備

導入や人手不足解消策な

どに100万円を上限に

4分の3を補助するもの

で、29日から第1次申請

受け付けが始まる。

説明会では、JAを通

じ、7月20日まで地域・

担い手サポートセンター

に申請書類を提出するよ

う求めた。

この他、野菜や花き、

果樹などの高収益作物を

対象に、資材購入や機械

レンタル費用などを助成

する高収益作物次期作支

援交付金や、売り上げが

5割以上減少した事業者

への持続化給付金も個々の申請が基本となるた

め、JAGグループを挙げた支援が必要とした。また、各種支援策は、活用に向けた提案にJAの総合事業の強みを生かすことで、より効率的な支援が期待できるとし、各JAには各担当部署の明確化と連携体制の構築を促した。